

輝く未来へ しほろ創生

広報



しほろ

2024
No.761

4

魅力的な地域の
幸福の
幸夫 氏



第16回みんなで教育を考える集い

～文化・スポーツ分野の7部門51個人6団体を表彰～

■主な内容

- ・町政執行方針／教育行政執行方針 P2～11
- ・3月議会で可決された主な案件 P12
- ・みんなで教育を考える集い P13～17
- ・春季町づくり懇談会開催のお知らせ P24
- ・退職者（管理職）のご挨拶 P25

令和6年度 町政執行方針

「チームしほろ“農村ユートピア”2世紀へ」

町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる
「真に豊かな農村しほろ」を目指して



3月8日に開会した第1回定例町議会において、高木康弘町長が町政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。

I はじめに

我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあります。30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済の先行きには前向きな動きが見られているものの、賃金上昇が物価上昇に追い付いておらず、個人消費は依然力強さを欠いており、再びデフレに戻るリスクを抱えています。

こうした中、政府は、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」(令和5年11月2日閣議決定)を策定し、デフレ脱却のための一時的な措置として国民の可処分所得を下支えするとともに、構造的賃上げに向けた供給力の強化を図っています。国の令和6年度当初予算は、令和5年度補正予算と一体として「経済財政運営と改革の基本方針2023」に沿って、足下の物価高に対応しつつ、持続的で構造的な賃上げや、デフレからの完全脱却と

民需主導の持続的な成長の実現に向け、人への投資、科学技術・イノベーションの促進、GX、DX、半導体といった成長分野への国内投資、少子化対策・こども政策の抜本強化を含む包摂社会の実現など、新しい資本主義の加速や、防災・減災、国土強靱化等の国民の安全・安心の確保、外交・安全保障環境の変化への対応をはじめとする重要な政策課題について、必要な予算措置が講じられています。一般歳出については、67兆7,764億円(4兆9,554億円減)となり、これに地方交付税交付金等や国債費を加えた歳出総計は、令和5年度に次いで過去2番目に大きい112兆5,717億円(1兆8,095億円・1.6%減)となったところであります。

II 町政運営の基本

このような国の経済、財政の動向の中にあつて、町の行財政を取

り巻く環境は依然として厳しいものがあり、その状況を踏まえつつ令和6年度の予算編成を行ったものであります。今後も財政の健全化に一層留意をしなければならぬものと、認識をしております。

令和6年度は、私の任期の3年目にあたり、「チームしほろ」農村ユートピア「2世紀へ」をテーマに、引き続き、第6期町づくり総合計画(後期)、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進とあわせ、第7期行政改革推進大綱を踏まえ、効率的かつ計画的な行財政運営に留意しつつ、地域の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と、町民誰もが安心・安全、生きがいを実感できる「真に豊かな農村しほろ」を目指してまいいる所存であります。



Ⅲ 主要施策

地域産業の活性化により、 多様な雇用を創出

基幹産業である農業をめぐっては、令和5年度は記録的な夏場の猛暑により農作物および家畜に大きな影響を及ぼした年となり、肥料や飼料といった生産資材の高騰が経営を大きく圧迫し、かつてない厳しい状況が続いております。そのような中、十勝管内の農協取扱高は、3,573億円(概算値)と過去2番目となり、十勝農業の底力を示したところでありました。生産者・関係機関のこれまでの努力に敬意を表すものであります。その一方で、世界の食料需給を巡るリスクの顕在化への対応や農業の持続可能な成長産業化を推進していかなければなりません。

これまでの生産性の高い士幌型農業に加えて、国の「食料・農業・農村基本法の見直しの方向」を踏

まえ、農業・農村の多面的機能を発揮しながら、

・消費者と食・農とのつながりの
深化

・担い手の育成・確保(仮称・士幌塾の開設)

・スマート農業の加速化

・持続可能な農業とゼロカーボンの
推進

などの取り組みを農業振興対策本部(審議会・執行部会)が中心となって推進してまいります。

その他、農業基盤整備事業の推進のほか多面的機能支払交付金事業(全町9地区)を継続してまいります。

一方、商工業については、コロナ禍からの回復に地域差がみられ、景気低迷や消費流出により一層厳しいものがありますが、小規模企業振興基本条例に基づく基本計画を商工会との連携で策定し、地域経済の持続的な発展および町民生活の向上を目指してまいります。

人の流れを増やし、住環境 を充実させ、移住・定住を 促す

本町の3つの観光拠点施設の入込客数はコロナ前の水準に回復しつつありますが、しほろ温泉プラザ緑風のリニューアル整備による更なる「関係人口」の拡大を目指してまいります。

移住・定住政策として、定住雇用促進賃貸住宅建設助成事業およびマイホーム建設支援事業に加え、前年度から新たに開始した、賃貸住宅家賃への助成を行う定住スタート応援事業および奨学金返還支援事業の積極的なPRを図り移住・定住を推進してまいります。

結婚・出産・子育てへの 支援を充実

国においては、「こども未来戦略方針」に基づき令和6年度より3年間でこども・子育て政策の強化に集中的に取り組むこととなって

います。

本町で結婚し生活を送ることを希望する人達が増えるよう、結婚につながる出会いの場を充実させます。

また、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を総合福祉センターおよび町民保健センターに令和6年4月から開設します。

子育てにかかる経済的な負担の軽減として、前年度開始した小学校・中学校の児童・生徒に対する給食費の完全無償化を継続します。

次に、平成20年度にスタートした認定こども園ですが、少子化が進む中にあるにもかかわらず3歳未満児の入園が増加している現状と施設の老朽化を踏まえ、令和7年度末の新築整備完成に向け、実施設計を進めてまいります。

一方、全国的に子どもの虐待や事故の頻発、子どもの貧困と言われる事態を大変憂慮しているところ

ろであり、地域を挙げて子どもを守るために、要保護児童対策地域協議会を構成する町・教育委員会・児童相談所・警察など関係機関との連携を強化してまいりたいと存じます。

安心して住み続けることができ る地域をつくる

国の社会保障制度が見直される中であって、保健・医療・福祉の推進においては、よりきめの細かい対応が必要であると認識をしているところでもあります。

まず、健康づくりの推進については、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を基本目標に、誰もが健康やかに安心して生活できるよう、引き続きライフステージに応じた各種施策を推進してまいります。

令和6年4月以降の新型コロナウイルスワクチン接種は、予防接種法上の特例臨時接種から季節性インフルエンザと同様の定期接種に位置付けられることから、一部助成を行

う予定としており、費用が判明次第、追加補正予算で対応してまいります。

次に、高齢者および障がい者の福祉についてであります。「第9期介護保険事業計画」および「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の初年度となりますが、福祉関係団体との連携のもと計画を推進してまいります。

介護保険事業の運営にあたっては、介護予防の充実による保険料の抑制、制度の安定および町内の施設等の人材確保を図ってまいります。

障がい者福祉では、NPO法人「士幌町障がい者支援の会」により「障がい者総合施設」を拠点として、各種事業が展開されているところであり、今後においてもNPO法人と連携しながら機能の充実を図ってまいりたいと存じます。

更に、地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会など福祉関係団体と連携しながら、全地域で展開さ

れている「ふれあい・いきいきサロン」、「共生型常設型居場所」や「たすけ愛」など、地域で支え合うシステムづくりを積極的に推進してまいります。

地域福祉の推進に向けては、高齢者の交通手段の確保が重要な要素であります。市街地におけるコミュニティバス運行と併せ、高齢者等移動支援事業によるハイヤーチケットの交付を継続してまいります。

次に、地域医療に関してですが、医師・看護師不足、診療報酬の改定などにより、自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。

国保病院は町内唯一の医療機関であり、保健・医療・福祉を包括する「福祉村」の中核施設としての役割を担うものであります。サービスの向上と併せ、経営改善の取り組みを行っていますが、一般会計から4億円超の繰出しをしています。「国保病院経営強化プラン」

に基づき、人口構造や医療ニーズの変化を踏まえつつ、医療機能や経営形態を含めた議論を行ってまいります。

さらに、「福祉村」内の各施設との連携を図りながら、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築を一層進めてまいりたいと存じます。

次に、世界的な気候変動が引き起こす自然災害の頻発・激甚化により町民の生命・財産を脅かすリスクに常にさらされており、防災・減災の対策や日本海溝・千島海溝沿い巨大地震が近い将来発生することも想定されるなかでの事前防災の重要性など、今後においても自然災害への対応は極めて重要であります。

前年度から配置した「地域防災マネージャー」を中心に地域防災計画に基づき、防災備蓄品の整備をはじめ自主防災組織率の向上と活動支援による地域と連携した防

災対策の強化に努めてまいります。

ゼロカーボン土幌の 実現

地球温暖化は、我が国、そして世界全体にとって大きな課題であります。2050年までの脱炭素社会の実現を見据えて、一昨年6月に「土幌町ゼロカーボンシティ宣言」を行ったところであり、令和4年度に策定した2030年、2050年の温室効果ガス(CO₂)削減目標に向け、前年度採択を受けた環境省の重点対策加速化事業の活用と共に、町単独補助(通称・はちどり補助金)によって町内の事業者、住民との連携・協働による取り組みを進めてまいります。

持続可能な町づくりの 推進

町政の推進にあたっては、庁内組織と連動して、町民会議や地方創生推進会議など、町民や関係機関・学識経験者にも広く参画をい

ただきながら、推進をしてまいります。

次に、広聴活動と積極的な情報発信であります。これまでの広報しほろ・役場だよりでの月1回の発信、春と秋の町づくり懇談会、ユートピアメールに加え「しほろみらいトーク」と「土幌町公式LINE」などのSNSの積極的な活用を図ってまいります。

また、マイナンバーカード、公式LINEによる各種証明書の申請やデジタル技術を活用した公的サービスの効率化等を積極的に進めます。

次に、財政健全化に向けての取り組みであります。国の地方財政計画においては、地方交付税は18兆6,671億円(3,060億円・1.7%増)となったものの、臨時財政対策債は4,544億円(5,402億円・44.3%減)と大幅に減額となり、町財政の運営に支障が生じないよう引き続き、時代のニーズをしっかりと見極めな

がら、より計画的かつ効率的な財政運営に留意しなければなりません。

また、新たな財源の確保の一端を担っている本町のふるさと納税は、返礼品を準備いただいているJA土幌町や各事業者のご協力により年々増加し、令和4年度5億600万円、令和5年度も約5億円を見込んでおります。令和4年度より開始しました企業版ふるさと納税を含めた寄附実績の着実な増加を図るだけでなく、土幌町の魅力を発信するツールとしても活用し、更なる地域好循環を目指してまいります。

本町においては、町の担う行政サービスの手段である事務事業および公共施設について担うべき主体やニーズの多様化を支える上で、経常収支比率が高い状況(令和4年度決算88.5%)にあります。労務単価の上昇や物価高などの影響から経常的経費は増加傾向にあり、引き続き、第7期行政改革推

進大綱の着実な実施により、健全な財政運営に一層留意をしてまいります。

IV おまげ

コロナ禍からの平時回帰と新たな時代の岐路に立ち、私たちは、土幌町の未来を切り拓いていかなければなりません。

町民の皆様と力を合わせ、様々な困難に向き合い、挑戦し続けることで、更に大きく飛躍できるものと考えています。そのためにも、全力で町政運営に取り組んでまいります。



令和6年度 教育行政執行方針

「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」

子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、異校種間の連携を推進

3月8日に開会した第1回定例町議会において、土屋仁志教育長が教育行政執行方針を述べました。内容は次のとおりです。



I はじめに

教育基本法は、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家および社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」と、その目的と基本理念を明確にしているところであります。

この理念を踏まえ、町民の信頼と期待に応えるために必要な教育環境を整備し、教育の質を高めていくことは極めて重要であり、令和3年度から5年間を計画期間とする「土幌町教育振興基本計画」に基づき、教育施策の総合的・計画的な推進を図ってまいります。

今日の社会は、人口の減少、少子高齢化に加え、グローバル化、産業構造の変化など数多くの課題を抱えており、これからの社会は、IoTやビッグデータ、人工知能をはじめとする急速な技術革新や、グローバル化の一層の推進などに

より、大きく変化することが予想されています。

そうした中、本町の学校教育においては、教育実践のテーマである「過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育」を基調とし、子ども一人ひとりが夢と希望を持って「生きる力」を身につけるため、幼・小・中・高の異校種間の連携を推進するとともに、学校はもとより家庭や地域と連携する地学協働の取り組みの充実を図り、「確かな学力・豊かな心・健やかな体」の調和のとれた育成と地域の温かい眼差しの中で、未来を担う子どもたちが人間性豊かで創造性にあふれ、心身ともにたくましく成長するよう充実した教育環境づくりに取り組めます。

また、社会教育においては、すべての人々がスポーツや文化活動など多様な活動に参加し、生きがいを持って心豊かな生活を営み、生涯にわたって学びその成果が活かせる生涯学習社会を展望しつつ、

教育行政を推進してまいります。

II 重点施策

1 学校教育

子どもたちがこれからの変化が激しい社会の一員として自立して活躍するため、学校においては、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となるよう子どもたちの可能性を引き出し、新しい時代に必要となる資質能力を育成することが極めて重要であります。

特に、小・中学校については、義務教育9年間を見通した系統的で継続的な指導の更なる充実を目指します。

また、ポストコロナを迎えて、コロナ禍を通して学校で培われた教育活動等の様々な見直しや改善の成果や有効性を検証し、効果的・効果的な教育活動の実施並びに校務運営の推進を図ってまいります。

基礎・基本を身につけた確かな学力の育成

・学力向上

学力向上については、全国学力・学習状況調査等の各種検査結果を検証・分析し、具体的な改善策に結びつける系統的で継続的な取り組みを全校体制で行うとともに、学校間で情報を交流・共有することによって町内全体の学力の向上を目指します。

また、子どもたちの学力向上に向けて、個別最適な学びや協働的な学びの実現を見据えた授業改善を積極的・組織的に推進を図ってまいります。各学校では、校内研修の充実やICTの効果的な活用を図った指導などを具体的に位置づけ、取り組んでいくことを支援してまいります。

・臨時教諭等の配置

新たに制定した「土幌町立小・中学校における学級編制等に関する規則」により、町費負担による臨時教諭を配置する対象学年を小・中学校全学年に拡大して、本年度

は小学校3学年と中学校1学年で少人数学級編制等を実施し、個に応じた指導の充実を推進してまいります。

また、必要に応じて臨時教諭、時間講師、支援員を、医療的ケアが必要な児童生徒が就学する学校には看護師の配置を行ってまいります。

・外国語教育

本町においては、令和5年度より中学校英語科教員による小学校「外国語・外国語活動」の専科指導を進めてまいりました。本年度も引き続き小中連携した専科指導をさらに充実させるとともに、3名体制の外国語指導助手(ALT)派遣の継続により、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めて、「聞くこと・話すこと」などの外国語能力の一層の向上を図ってまいります。

・特別支援教育

特別支援教育については、インクルーシブ教育の理念に基づいた

全校体制での特別支援教育推進の充実に向けて、特別支援学級担当教員の指導力の向上や校内連携会議の定期的な開催など支援体制の充実を図ってまいります。加えて、特別支援教育支援員を要所に配置して、子ども一人ひとりの能力や可能性を伸長するきめ細かな指導・支援に努めてまいります。

また、教育委員会、学校、こども園、保育所等の関係機関の連携組織である「土幌町子育て支援連携協議会」で協議し、特別な教育的支援が必要な子ども一人ひとりに乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を推進してまいります。

・ICT活用教育

一人一台端末は児童生徒の学びに必要なツールとしての位置づけが高まってきています。各学校における個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けたICTの効果的活用を進めるため、教育研究所ICT部会を中核とした町内交流や研修会開催などで、教職員のI

CT活用能力の一層の向上を図ってまいります。

また、ICTの積極的活用に伴う、児童生徒の情報モラル教育の充実や健康への配慮に加えて、校務の情報化・効率化や教育データの利活用による効果的な学びの支援についても一層推進してまいります。

・学習サポート

長期休業中の学習サポートについては、小学校3校の合同開催や土幌高校生徒の協力など学校連携の要素も加わり、年を経るごとに内容が充実してきて、着実に成果を上げており、基礎基本の定着や主体的に学習に臨む態度の育成等を目指し、更に効果の上がる取り組みに努めてまいります。

教育委員会が平成26年3月から開始した北海道大学の学生による「学習サポート塾」には、毎回多くの小・中学生が参加し、学習のみならず、読書や運動等を通して、大学生と楽しく学ぶ機会となって

おり、今後も更に充実を図りながら継続してまいります。

・教職員研修等

教職員の研修については、教員免許更新制の発展的解消に伴う、「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた新しい研修制度が実施され、教師自身の個別最適な学び、協働的な学びが求められています。

ICT活用能力や主体的・対話的な深い学びにつながる授業改善などプロ教師としての資質能力を磨く各種の研究会・研修会への参加を積極的に後押しすることや日常の教育実践や自己研鑽を進め、教員同士の学び合いを高める校内体制の充実を支援してまいります。

また、学校教育に対する信頼を確保するため、教職員の不祥事根絶などを目指した服務規律の徹底に向けた研修の充実を進めてまいります。

優しさと思いやりのある豊かな心の育成

子どもたちが、互いを尊重し、

共に支え合いながら社会の一員として成長するためには、学校・家庭・地域が連携しながら、心身の健やかな発達を支えていくことが大切です。

・道徳教育

子どもたちは道徳教育で学んだことをもとに、他の教科や総合的な学習の時間、特別活動などと連携した視点をもつことにより、自らの生き方について考えを深めることにつながります。道徳教育の核となる「道徳授業」については、命を大切にすることや思いやりの心、公共心や規範意識を育てるため、あるいは、社会性や豊かな人間性を育むため、「考え議論する道徳」の授業づくりを推進してまいります。

・いじめ防止対策

いじめは、全ての子どもたちが「いかなる理由があろうと、絶対に許さない」という強い認識を持ち、児童生徒が主体的に未然防止に取り組む学校風土を醸成するとともに

に、教職員のいじめの積極的認知と情報共有を進めた体制を整備して、いじめの早期発見・早期解消に取り組む学校づくりを支援してまいります。

各学校においては必要に応じて「いじめ防止基本方針」の見直しを行うとともに、保護者や地域への説明などで理解と連携を図り、組織的・積極的ないじめ防止対策を推進するよう努めてまいります。

・不登校対策

近年、学校に足が向かずに、短時間の登校や欠席が多くなっている不登校児童生徒が多く見受けられ、各学校においても支援教室の設置などの対策を講じています。

不登校に至る原因は児童生徒により様々で、個々に応じた丁寧な支援が必要であり、昨年度より、町採用の不登校対策専門員を配置して、児童生徒およびその保護者に寄り添った相談など適切な支援をしております。本年度についても専門員の配置を継続し、不登校に

対する支援の充実を図ってまいります。

健康とたくましい体力の育成

・体力向上

体力については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証・分析し、学校課題に対する具体的な改善策に結びつける取り組みを行うとともに、学校間で情報を交流・共有することによって町内全体の体力・運動能力の向上を目指します。また、小学校に町採用の体育専科教員を配置して、体育授業および日常活動を通じた体力・運動能力の向上を支援してまいります。

新体力テストについては、今年・全種目実施や複数回実施を推進してまいります。

・スポーツ少年団活動、部活動

本町の児童生徒は、スポーツ少年団活動・部活動参加率が高く、各種スポーツ競技大会での成果が目立っていますが、健康・体力

や運動能力の一層の向上を図る方策として、これらの活動を積極的に支援してまいります。また、部活動の地域移行につきましましては、実施に向けた協議会を設置して、関係機関との連携を一層強め、地域の実態を踏まえた地域移行への協議を推進してまいります。

安全・安心な教育環境づくり

学校は子どもたちにとって安全で安心して学ぶ場でなければなりません。通学時の安全対策を含めて、実践的な防災・防犯教育を進めるとともに、子どもたちの安全・安心を確保し、快適に学ぶことができる教育環境を整備するために、家庭や地域・関係機関との連携を図ってまいります。また、自然災害への対応等を想定した「一日防災学校」の取り組みを推進してまいります。

大地くんと学ぼう

地元で生産される農畜産物など

を利用した食品加工体験を通して、地域の産業や食に関して学ぶ、食農体験学習「大地くんと学ぼう」は、管内的にも注目される取り組みであり、本町の特色ある教育活動の一つであります。今後も農畜産物加工研修施設「しほろキッチン」の有効活用や学習内容の充実を図るなど継続して実施してまいります。

都市交流事業

各小学校間で長い歴史がある都市小学校との交流事業は、子どもたちの日常生活では経験することのできない貴重な体験を通して、人間形成に大きな役割を果たすものと考えます。

事業実施にあたっては、相互交流を基本とすることから、交流先の理解と協力が必要となりますが、子どもたちの心に残る事業実施に向けて協議を進め、本事業の目的達成に努めてまいります。

学校給食・食育

学校給食では、衛生管理や指導の徹底を図り、食の安全確保に努めてまいります。

地産地消の推進につきましては、「ふるさと給食月間」の設定、土幌町肉牛振興会や土幌高等学校の協力の下、土幌産の食材を生きた教材として活用し、安心できる給食を提供することで、地域の食文化への理解を深める取り組みを進めてまいります。

高等学校

北海道士幌高等学校は、農業および農業関連産業の担い手育成をめぐり、地域の信頼に応える教育実践を経営方針として学校経営を展開してまいりました。

近年は、少子化の影響から、郡部校の存続が極めて厳しい状況にあるものの、本校の農業教育の実践は、望ましい勤労観や職業観を育むとともに、修学支援制度や海外文化交流事業などを活用し、農

業の魅力を伝え地域を支える産業人育成のために大きな役割を果たしているところです。

今後につきましても、本校の特色ある活動や教育の成果、そして学校の魅力を広く発信することにより、より多くの皆さんの本校に対する興味・関心を高めて、入学希望者の増加につなげてまいります。

コミュニティ・スクール

子どもたちの健やかな成長を支えるためには、学校、家庭、地域が連携し、地域ぐるみで子どもたちを守り育てる環境をつくる必要があります。

認定こども園を含め町内の全ての小・中・高等学校に導入した「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の充実を図り、地域住民および保護者の学校運営への一層の参画を促し、学校と地域がより一体となった組織づくりを進めてまいります。

学びをつなぐ学校づくりの実現

「土幌町幼・小・中・高連携教育」の推進は2年目となります。本年度は連携の質や量の充実とともに、教員の交流など、認定こども園・保育所・小学校・中学校・高等学校の各学校間の連携・接続を図りながら、管理職がリーダーシップを発揮して学校運営に当たるとともに、教職員の発想を生かした創造的な取り組みが展開できる環境づくりを推進してまいります。

学校における働き方改革の推進

学校における働き方改革については、学校行事などの教育活動のスリム化やICTを活用した教科指導並びに校務の効率化を推進して、教職員の時間外在校時間の削減など推し進めてまいりました。今後については、「土幌町立学校における働き方改革推進プラン」の見直しなど、教職員のワークライフバランスを尊重した働き方に関する意識改革を一層推進してまい

ります。

2 社会教育

令和4年度から5年間を計画期間とする社会教育中期計画に基づき、各種の社会教育施策を推進してまいります。

町民が生涯にわたって生きがいを持ち、充実した生活を実現するために、それぞれのライフステージに応じた学習活動を行うことで自己実現を図ることが必要であり、その意味では社会教育の果たす役割は極めて重要であると考えます。

近年、核家族化や少子化などの影響により、家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。このため、家庭教育に資する学習活動や、子育てに関する支援事業の充実に向けてまいります。

生涯学習の推進については、いつでも、どこでも、だれが必要に応じて生涯学びあえる環境づくりを進める必要があることから、様々

な学習機会の提供に努めてまいります。

生涯教育・学習機会の充実

少年教育については、サタデースクール、放課後子ども教室、イングリッシュキャンプ、学習サポート塾の継続実施により、自然や生活体験を重視した学習を行い、豊かな人間形成を図る学習機会の充実を図ってまいります。

青年教育については、町づくりの更なる活性化を図るため、青年組織の主体的活動を支援するとともに、若い力の町づくりへの積極的な参加を支援してまいります。

成人一般教育については、生涯学習講座や研修会、出前講座など様々な学習機会の提供に努めるとともに、特に女性活動の推進については、女性ライフスクールの開設、地区女性学級の支援に取り組むほか、女性団体の活動に支援を行うってまいります。

家庭教育については、インター

ネットやスマートフォンの普及などの社会環境や共働き家庭の増加など家庭環境の変化により、子どもを取り巻く環境が大きく変化している中で、新たな課題が発生しています。

そのため、教育を考える集いやインターネットの講座などの学習機会の提供を行い、家庭教育の充実を図ってまいります。

高齢者教育については、柏樹学級の開設により、スポーツ・ボランティア活動や世代間交流活動を通して心身の健康増進に努め、生きがいのある生活が実現できるよう支援していくほか、豊かな経験を生かした学習活動や社会参加を推進してまいります。

芸術・文化

本町における芸術・文化活動は、文化協会加盟団体や各種サークルにより自主的な活動が活発に行われています。引き続き、文化団体への活動支援や芸術鑑賞会、文化

祭の開催を行ってまいります。

スポーツ

スポーツについては、健康や体力の維持・増進のほか、地域コミュニティ形成にも大きな役割を果たすものであり、「町民一人一スポーツ」運動を推進してまいります。

また、町民が個々の体力や健康状態に応じてスポーツに取り組めるよう、初歩的なスポーツ教室や軽スポーツの普及促進に努めるほか、スポーツ推進委員や町体育連盟各競技団体と連携を図り、各種競技大会を開催いたします。

スポーツ少年団活動は、競技技術の向上に加えて、子どもたちの健全育成にも大きく寄与するものであり、指導者の養成や日常活動に対する支援に取り組んでまいります。

社会教育施設

社会教育施設については、複合施設である総合研修センターにつ

きましては、令和5年度より指定管理者制度による業務委託となりましたが、これまで通り生涯学習の拠点施設としての役割を果たしてまいります。

今後も、いつでも・だれもが学ぶことができる施設として多くの町民の方々に利用していただけるよう、利用者のニーズを的確に把握して、要望に十分応えられるよう、施設・設備の維持・管理に努めてまいります。

また、本町では、各地区公民館が地域コミュニティを形成する場として重要な役割を果たしており、地域住民の教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進に大きく寄与しています。公民館活動推進委員会への継続した支援を行うとともに、公民館施設は各地区の活動拠点であるとともに災害時の避難場所に指定されていることから、施設・設備の適切な維持・管理を行ってまいります。したしみ図書館についても、指

定管理者制度による業務委託となりましたが、生涯学習のための拠点として、町民の読書要求と学習意欲に応えられる資料を収集・提供するとともに、広く町民に親しまれる図書館づくりに取り組んでまいります。

また、小学校と連携した巡回図書や読み聞かせ等の活動を継続するとともに、ボランティアサークルの育成を図り、子どもの読書活動の推進・充実を図ってまいります。

その他、スポーツ施設についても、施設延命化のため、適切に維持・管理をしてまいります。

III むすびこ

教育委員会といたしましては、総合教育会議などを通して、これまで以上に町長との連携を図り、士幌町教育大綱に掲げる「輝く未来へ しほろ創生」の基本理念のもと、今後も次代を担う本町の子

どもたちの健やかな成長と、町民の皆様の活気と潤いに満ちた生涯学習社会の創造をめざし、学校・家庭・地域はもとより、関係機関・関係団体等との連携を深めて本町教育のより一層の充実・発展のため、全力で取り組んでまいります。



美濃市・士幌町
フレンドシップ交流事業



町民スポーツの集い
パークゴルフ競技

3月議会会で可決された主な案件

3月8日から14日まで令和6年第1回定例会が開催されました。条例改正や令和6年度予算などの議案について審議し、原案のとおり可決されました。

○教育委員会教育長の任命

土屋 仁志 氏

○監査委員の選任

寺田 和也 氏

○固定資産評価審査委員会委員の選任

高下 慎一 氏

○人権擁護委員の推薦

松浪 智子 氏

○一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例

特定任期付職員の給料等について、定年延長に伴い他職員との整合性を図るため、条例を改正するもの

○報酬に関する条例の一部を改正する条例

長時間職務に従事する場合の報酬を増額するため、条例を改正するもの

るもの

○特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例

職員が、災害発生現場にて作業を行う場合や、被災した他市町村への派遣等にあたる場合、災害応急作業手当を支給するため、条例を改正するもの

○土幌町地域活動支援センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

精神保健および精神障害者福祉に関する法律の改正により、条例を改正するもの

○土幌町看護職員等養成修学資金貸付条例を廃止する条例

修学資金の貸付から奨学金返還支援事業への制度見直しおよび対象となる資格の拡大を図るため、条例を廃止するもの

○土幌町介護保険条例の一部を改正する条例

第9期介護保険事業計画に基づく保険料の改定のため、条例を改正するもの

○土幌町指定地域密着型サービス

の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○土幌町指定地域密着型介護予防サービス

の事業の人員、設備及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○土幌町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

○土幌町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

指定居宅サービス等の事業の人員、設備および運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に係る関係基準の改正により、条例を改正するもの

○土幌町簡易水道事業の設置等に関する条例

簡易水道事業に地方公営企業法の一部である「財務規定等」を適用することに伴い、条例を制定するもの

○土幌町下水道事業の設置等に関する条例

下水道事業に地方公営企業法の一部である「財務規定等」を適用することに伴い、条例を制定するもの

○土幌町簡易水道事業及び下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用すること等に伴う関係条例の整備に関する条例

簡易水道事業および下水道事業に地方公営企業法の一部を適用すること等に伴い、関係する条例の改正および廃止を行うもの

○令和5年度補正予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計、国民健康保険病院事業会計

○令和6年度予算

一般会計、国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、介護サービス事業特別会計、国民健康保険病院事業会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計

みんなが教育を考える集い

3月10日、総合研修センターにて、第16回みんなが教育を考える集いが開催され、約160人が来場しました。

「郷土を愛する心を持ち、かけがえのない自他の生命を尊重する心の育成と、他人を思いやりいじめを許さない社会の実現を目指す強い意志と確かな学力を備えた子どもたちの育成を目指し、多くの町民や近隣住民が一堂に会し、子どもの教育を考える機会とすること」を目的に開催。

はじめに、土幌町の文化やスポーツの向上発展に関し、特に顕著な功績をあげた7部門51個人6団体に対し表彰式を行った後、弁護士菊地幸夫氏を招き「菊地流・魅力的人生のススメ」と題し、講演を行いました。



菊地氏は、日本テレビ「行列のできる相談所」をはじめとした番組にレギュラーとして出演しており、弁護士業務の傍ら体力づくりにも勤しみ、地元小学生のバレーボールチームの監督等も務めています。



娘に厳しい父親だったという菊地氏ですが、「娘のプライバシーを尊重するように」は、家の中の緊張感が解けて仲良く暮らせるようになった」と、自身の体験を語りました。

また、少年事件で弁護した少年が更生した体験を例に挙げ「欠点を改善するのは難しいが、良いところを伸ばすのは本人もやる気になる。そう思って子どもと向き合ってほしい」と呼びかけました。

最後に菊地氏は少年バレーボールの指導の話を通じて「教えるは学ぶの半ば。『だめだ』とは誰でも言えるが、指導者は体の使い方や言葉で伝えられるようにならない。毎回どこかで楽しいと思える練習を」と話し、講演を締めくくりました。

表彰者は次のとおりです。(敬称略)

ジュニア文化奨励賞

大井 つむぎ

(中土幌小学校1年)

令和5年度十勝子ども大会絵画の部 特選

早坂 梨心

(上居辺小学校1年)

令和5年度十勝子ども大会書写の部 特選

田中 朝陽

(上居辺小学校4年)

令和5年度十勝子ども大会書写の部 特選

山崎 晴子

(土幌小学校4年)

令和5年度十勝子ども大会工作の部 特選

佐藤 優衣

(土幌町中央中学校1年)

令和5年度十勝子ども大会技術科作品の部 特選

野口 夏帆

(土幌町中央中学校1年)

令和5年度十勝管内「北海道学び推進月間」標準語 優秀賞

西部 夏生

(土幌町中央中学校2年)
令和5年度十勝子ども大会書写の部 特選

文化賞

飯島 愛結

(帯広三条高等学校1年)
第76回全日本合唱コンクール全国大会 高等学校部門 A 金賞・香川県知事賞／第74回北海道合唱コンクール 高等学校部門 A 金賞・北海道教育委員会教育長賞／第57回全道高等学校音楽発表大会 合唱部門 最優秀賞

飯島 伽蓮

(帯広三条高等学校2年)
第75回全国書初作品大会 全日本書芸文化院賞

木村 萌

(北海道土幌高等学校3年)
第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年熊本大会 意見発表会 分野Ⅲ類 優秀賞

テキソエ・トウート一樹

(北海道帯広工業高等学校3年)
令和5年度北海道高等学校ロボット競技大会 第1位

丸山 由騎

(北海道土幌高等学校3年)
第74回日本学校農業クラブ全国大会令和5年熊本大会 農業鑑定競技会 分野 農業 優秀賞

森本 悠月

(帯広三条高等学校3年)
第76回全日本合唱コンクール全国大会 高等学校部門 A 金賞・香川県知事賞／第74回北海道合唱コンクール 高等学校部門 A 金賞・北海道教育委員会教育長賞／第57回全道高等学校音楽発表大会 合唱部門 最優秀賞

與佐田 美月

(帯広三条高等学校3年)
第76回全日本合唱コンクール全国大会 高等学校部門 A 金賞・香川県知事賞／第74回北海道合唱コンクール 高等学校部門 A 金賞・北海道教育委員会教育長賞／第57回全道高等学校音楽発表大会 合唱部門 最優秀賞

文化奨励賞

田中 零音

(北海道土幌高等学校1年)
令和5年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会 家畜審査競技会 乳牛の部 優秀賞

木村 龍之介

(北海道土幌高等学校2年)
令和5年度第53回東北北海道学校農業クラブ連盟意見発表大会 意見発表会 分野Ⅱ類 優秀賞

田村 勇翔

(北海道土幌高等学校3年)
令和5年度日本学校農業クラブ北海道連盟全道技術競技大会 農業鑑定競技会 分野 食品 優秀賞

ジュニアスポーツ賞

上野 愛菜

(土幌小学校6年)
2023/2024全日本ノービススピードスケート競技会札幌大会 小学6年女子 500m 第2位／第21回世界ジュニア記念北海道小・中学生スピードスケート競技大会 小学6年女子 500m 第1位

大野 隆晴

(上居辺小学校6年)
2023/2024全日本ノービススピードスケート競技会富士吉田大会 小学6年男子 500m 第3位 1000m 第3位

佐々木 煌平

(土幌小学校6年)

2023/2024全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学6年男子 5
00m 第1位 1000m 第3位

鈴木 凱大

(土幌小学校6年)

2023/2024全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学6年男子 5
00m 第2位 1000m 第4位/20
23/2024全日本ノービススピードスケ
ート競技会富士吉田大会 小学6年男子 5
00m 第2位 1000m 第2位

中川 琴葉

(中土幌小学校6年)

2023/2024全日本ノービススピード
スケート競技会札幌大会 小学6年女子 5
00m 第3位 1000m 第3位

土幌町中央中学校スピードスケート女子チーム
(上野結菜・小野寺仁菜・河村京葉・野口夏帆)

第54回北海道中学校スケート大会スピードス
ケート競技女子2000mリレー 優勝

ジュニアスポーツ奨励賞

大野 瞬

(上居辺小学校1年)

第28回全十勝ジュニアスピードスケート選手
権大会 小学1年男子の部 総合第2位
/第39回市長杯争奪少年団大会兼道東少年団
交流大会 小学1年男子300m 第2位
500m 第2位/第39回全十勝スピードス
ケート札幌大会 小学1年男子総合 第2位

松山 純生

(土幌小学校1年)

第39回全十勝スピードスケート札幌大会 小
学1年男子総合 第1位

佐々木 渚美

(土幌小学校2年)

第39回全十勝スピードスケート札幌大会 小
学2年女子総合 第1位/第45回全十勝スポ
ーツ少年団スピードスケート交歓大会 2年
女子500m 第2位

飯島 健心

(土幌小学校3年)

第21回世界ジュニア記念北海道小・中学生ス
ピードスケート競技大会 小学3年男子 1
000m 第6位

上野 光輝

(土幌小学校3年)

第41回北海道小学生陸上競技大会 3年男子
800m 第2位/第31回北海道陸上競技フ
ェスティバル帯広会場 小学3年男子 走幅
跳 第1位/第21回世界ジュニア記念北海道
小・中学生スピードスケート競技大会 小学
3年男子 1000m 第5位

大野 蓮之佑

(上居辺小学校3年)

第39回市長杯争奪少年団大会兼道東少年団交
流大会 小学3年 500m 第1位 10
00m 第1位/第69回全十勝児童スケート
選手権大会 3年男子総合 第1位/第28回
全十勝ジュニアスピードスケート選手権大会
大会 小学3年男子 総合第1位/第42回全
十勝ミニプリント選手権大会 3年男子総
合 第1位/第39回全十勝スピードスケート
札幌大会 小学3年男子総合 第1位/第41
回北海道小学生陸上競技大会 小学3年男子
100m 第1位/2023年釧路新聞社杯
釧根陸上競技大会 中学年男子 100m
第2位 800m 第1位/第25回阿部杯長
距離競技大会 小学男子 800m 第1位

野口 泰輔

(土幌小学校3年)

第31回北海道陸上競技フェスティバル帯広会
場 小学3年男子 走幅跳 第2位

藤内 陽和

(土幌小学校3年)

第15回全十勝新体操競技選手権大会 Dクラ
ス 第2位

堀江 いろは

(土幌小学校3年)

第15回全十勝新体操競技選手権大会 Dクラ
ス 第1位

松山 開晴

(土幌小学校3年)

第41回北海道小学生陸上競技大会 3年男子
800m 第1位/第31回北海道陸上競技フ
エステイバル帯広会場 3年男子 800m
第1位

大野 春樹

(中土幌小学校4年)

第39回全十勝スピードスケート土幌大会小学
4年男子総合 第2位/第45回全十勝スポー
ツ少年団スピードスケート交歓大会 4年男
子500m 第2位

松山 雄世

(土幌小学校5年)

第41回北海道小学生陸上競技大会 5年男子
1500m 第2位

吉田 えるの

(土幌小学校5年)

第13回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝
大会予選会 ジュニア(小学生)女子の部 第
2位

井澤 藍里

(中土幌小学校6年)

第13回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝
大会予選会 ジュニア(小学生)女子の部 第
1位

千葉 絢太

(土幌小学校6年)

第13回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝
大会予選会 小学生男子の部 第1位

野口 夏帆

(土幌町中央中学校1年)

第54回北海道中学校スピードスケート競技
女子500m 第5位

河村 京葉

(土幌町中央中学校1年)

令和5年度北海道中学校新人陸上競技大会
砲丸投げ 第6位/第54回北海道中学校スピ
ードスケート競技 女子1000m 第3位
1500m 第3位

上野 結菜

(土幌町中央中学校3年)

令和5年度北海道中学校陸上競技大会 女子
走幅跳 第4位/第54回北海道中学校スピ
ードスケート競技 女子1500m 第6位

土幌ファイターズ

(棚内巧太・富松凌馬・尾澤叶真・佐藤李空・

尾藤陸斗・田中佑飛・山本湊・名波令穂・小川
晴澄・入江權生・松倉侑利・成田大吉・田中耕
生・岩井宏雅・佐藤奏仁・若村竜之介)

高田宮賜杯第43回全日本学童軟式野球十勝支
部予選大会 Cブロック 優勝

士幌陸上クラブ5・6年男子チーム

(鈴木凱大・飯島昂生・佐々木煌平・大野隆晴・

松山雄世)

第41回北海道小学生陸上競技大会 帯広会場
6年男子 4×100mリレー 第2位

士幌陸上クラブ6年女子チーム

(上野愛菜・中川琴葉)

第41回北海道小学生陸上競技大会 6年女子
4×100mリレー 第3位/2023年釧
路新聞社杯釧根陸上競技大会 小学6年女子
4×100mリレー 第1位

士幌町中央中学校サッカー部

(坂井太一・小椋蒼空・川村豪毅・高橋諒丞・

川村嘉輝・島田瑛音・田中泰芽・棚橋柚稀・奥

秋優大・鈴木智也・成瀬陽・長谷川颯生・波多

野琥汰・林下凌佑・山田煌翔)

第62回北海道中学校サッカー大会 第3位

士幌町中央中学校女子バレーボール部

(テキソ工由貴・蛭澤彩矢・富田凜・細井姫来・

小野寺茜音・篠原帆高)

令和5年度全十勝中学校春季バレーボール大

会 優勝/令和5年度全十勝中学校夏季バレー

ボール大会 準優勝/令和5年度全十勝中

学校秋季バレーボール大会 準優勝

スポーツ賞

奥秋 静子

(帯広三条高等学校1年)

令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73

回全国高等学校スピードスケート競技選手権

大会 女子 500m 第1位 パシユート

第2位 2000mリレー 第3位/第76回

北海道高等学校スケート競技・アイスホッケー

1競技選手権大会 高校女子2000mリレー

1 第1位 パシユート 第1位

鎌田 璃子

(白樺学園高等学校1年)

令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73

回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 2000mリレー 第1位

石川 未憂

(北海道北高等学校2年)

第33回北海道チアリーディング選手権大会

第1位

奥秋 智佳

(白樺学園高等学校3年)

令和5年度全国高等学校総合体育大会 第73

回全国高等学校スピードスケート競技選手権

大会 女子 1500m 第2位 3000

m 第4位 2000mリレー 第1位 パシユート 第3位

國井 麻耶

(北海道文教大学附属高等学校3年)

第32回北海道高等学校女子サッカー選手権大

会兼第32回全日本高等学校女子サッカー選手

権大会北海道予選 優勝

スポーツ奨励賞

東井 咲詠

(帯広南商業高等学校2年)

第13回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝

大会予選会 高校生女子の部 第1位

小野寺 昂

(帯広南商業高等学校2年)

第76回北海道高等学校スケート競技・アイス

ホッケー競技選手権大会 高校男子10000

0m 第6位

鎌田 凌輔

(帯広農業高等学校2年)

第76回北海道高等学校スケート競技・アイス

ホッケー競技選手権大会 高校男子20000

mリレー 第5位

坂本 頼武

(白樺学園高等学校2年)

第39回北海道高等学校新人陸上競技大会 男

子走幅跳 第4位

鈴木 咲風

(帯広南商業高等学校2年)

第76回北海道高等学校スケート競技・アイス

ホッケー競技選手権大会 高校女子20000

mリレー 第2位 パシユート 第5位

森山 皓輝

(駒澤大学附属苫小牧高等学校3年)

高円宮杯JFAU-18サッカープリンスリー

グ 2023北海道 第4位

中央中「土幌探究学習」

2月9日、土幌町中央中学校にて、総合的な学習の時間「土幌探究学習」の一環として、(株)at LOCAL 堀田悠希社長および合同会社 Sun Village 服部兼矢代表社員を講師に招き、「私たちにできるまちづくり」をテーマに、ワークショップ形式の授業が開催され、1年生54名が参加しました。

「土幌探究学習」は、地域の人材と協力した学習を通じて土幌町の未来についての考えを深めることを目的に、1年生はSDGsの視点などを取り入れながら土幌町の課題を知り、解決するためのアイデアを発表することが目標となっています。

この日の前半は、堀田さんが道の駅ピア21しほろの関係人口を増やす取組や、道の駅と商店街を結びつける取組などを紹介し、服部さんが移住体験で来た人に土幌のファンになってもらう移住者カフェなどの取組を紹介しました。

後半は、生徒たちが班ごとに土幌町の関係人口を増やす方法を考えました。アイデア出しにあたり堀田さんは「大前提となる、土幌町の自分たちの好きなどころから考えてほしい」と呼びかけました。



新1年生へランドセル寄贈

〜三原好生さん〜



2月13日、町内上居辺(共成)在住の三原好生さんから、新しく小学校に入学する子どもたちのために、新品のランドセルが寄贈されました。三原さんは、ご自身のお子さんの小学校入学をきっかけに、「物価高騰など生活が楽ではない家庭がある中で、経済的な理由でランドセルを買ってもらえない新1年生がもしもいたらとても悲しいし、土幌町には大学卒業後14年間暮らしており、子ども達もスクスク成長している。恩返しをしたかった」と話していました。

ランドセルを受け取った教育委員会川口参事は、「お心遣いに変な感謝します。土幌の子ども達のために大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を伝えました。

今後は、教育委員会が寄贈いただいたランドセルを使っていただくためのルールなどを検討し、周知していきます。

敬老祝い金贈呈

2月13日、ケアハウス愛風苑にて、100歳を迎えられた大西ふさ子さん(大正13年1月31日生まれ)に高木町長から敬老祝い金が手渡されました。

ふさ子さんは上土幌町出身で、農業・酪農を営んでいました。明るく元気で頑張り屋な性格のふさ子さんは、ケアハウスの廊下を3往復するのが日課だそうです。当日は、ご家族に見守られながら祝い金を受け取りました。

100歳を迎えたことについて、「知らず知らずに歳を重ね、気づいたら100歳になっていた。周りの人に感謝している」と笑顔で話していました。



~100歳の誕生日
おめでとう
ございます!~

少人数校ならではの体育

～中士幌小学校校内研修～

2月14日、中士幌小学校にて、高瀬淳也教授（北海道教育大学旭川校芸術・保健体育教育専攻保健体育分野）を講師に招き、体育の授業の校内研修が行われました。高瀬教授を招いての研修は昨年に続いて2回目であり、前回参加した教員たちからのリクエストもあって実現しました。

児童向けには体育指導として、学年ごとにフラッグフットボールや高瀬教授考案のパスを繋ぐ球技などを通じ、チームスポーツにおけるパスの呼び方やおとりなど、少人数校では体験しづらい「ボールを持つていないときの動き」を引き出す授業が行われました。教員向けには、学習のポイントをしぼった体育教材の選び方などをテーマに講義が行われ、高瀬教授は「先生方に日頃の授業で活用してほしい」と話していました。



北海道「輝く女性のチャレンジ賞」を受賞

～(株)at LOCAL 堀田悠希さん～

2月7日、(株)at LOCAL 堀田悠希さんが北海道庁にて「輝く女性のチャレンジ賞」を受賞し、2月16日に高木町長へ受賞を報告しました。この賞は、職場、地域、家庭その他のあらゆる分野でチャレンジし、活躍している個人や団体を表彰する北海道男女平等参画チャレンジ賞のうち受賞者が女性個人の場合に贈られるものです。

堀田さんは、十勝管内の女性農業関係者による「農と暮らしの委員会」を設立して、女性農業者の生き方や働き方を楽しみながら追及していく取り組みを進めているとともに、道の駅ピア21しほろの運営に当初から関わり、地域の魅力を発信するなど地域の発展に寄与されています。

受賞を受け堀田さんは「at LOCALで働く50人で一致団結して士幌町に貢献できるよう日々働いた結果だと思う」と振り返り、高木町長は「士幌の食のPRに本当に活動されている」と話していました。全体の発展にも期待している」と話していました。



小学生を対象に 星空観察会を開催

～北町公民館～

2月17日、北町公民館にて、同公民館主催の星空観察会が開催され、地域の親子など約15名が参加しました。

山中明裕推進委員長が、家族で宇宙や星に関心を持ってもらうことを目的に、「星空案内人」の資格を持つ町内在住の鈴木麟太郎さんを講師に招いて初めて開催。参加者は、山中委員長の望遠鏡で月の模様を観察したほか、自分の腕を使った「ものさし」で星を探す練習にも挑戦しました。



白熱！「畳の上の格闘技」 ～第27回土幌町下の句かるた大会～



2月18日、総合研修センターにて、実行委員会（土屋仁志実行委員長）主催の第27回土幌町下の句かるた大会が開催され、小学生から大人まで10チーム34名が出場しました。開会式では、土屋実行委員長が「集中力・判断力・瞬発力総動員で、練習の成果を発揮してほしい」とあいさつしました。小学生の部はB級、一般の部はA～C級に分かれリーグ戦が行われました。

第一試合、会場が静まりかえる中、全日本下の句歌留多協会音更鳳俱樂部の小玉嘉紀事務局員が読み手を担当し、各シートでは真剣勝負が繰り広げられました。

参加した森本真吏さん（高校1年）は「4年ぶりに参加できて楽しかった。久しぶりだったが、たくさん札を取れた」と話していました。

結果は次のとおりです。

●一般の部A級

優勝 朝井金物店
準優勝 佐倉の未来

●一般の部B級

優勝 佐倉の月
準優勝 玲瓏の心

●一般の部C級

優勝 紅夢の末
準優勝 佐倉の乙女
第3位 佐倉さくら

●小学生B級

優勝 末の松山
準優勝 歌留多全力



能登半島地震の被災地へ 義援金を寄付



2月19日、土幌町職員一同、職員組合、管理職員等会および土幌町議会議員会（秋間紘一会長）より、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地に、義援金（42万円）の寄付を行いました。

高木町長は「1日も早い復興を願いつつ、義援金をお送りしたい」と話していました。

※義援金については、日本赤十字社土幌分区分区を通じて、被災地にお届けしました。

士幌町商工会青年部（2月20日）



2月20日、タウンプラザにて、高木町長と士幌町の未来について語り合う「しほろみらいトーク」が行われました。この日は、商工会青年部員7名が参加し、「商店街の賑わい」と「子育て支援」の2点について話し合いました。

商工業者や子育て世帯、婚活中などの目線からの意見などが出され、町と商工会青年部の双方にとって非常に有意義なトークが行われました。



【出された主な意見】

- 町民にどんな施設（店舗）が欲しいかを聞いてみるとよい。
- 誘致したい業種を絞って町外にアピールしてはどうか。
- 家賃をとって複数の店舗を入れられるような施設を作った方がいい。
- まずは結婚前の支援などを増やした方がよい。
- 子どもの治療費を町が出してくれるのは良いことなのでもっとPRした方がよい。
- 少年団活動で送迎など親のやるが多くて困っている。

士幌町ゲートボール協会（2月22日）



2月22日にも、屋内ゲートボール場にて、ゲートボール協会とのしほろみらいトークが行われました。

会員28名が参加し、「ゲートボール場の維持・管理」や「町内会について」など、13の話題について、士幌町をより良く、より住みやすくするための意見や、町の取り組みについての質問が多数挙がり、終始活発なトークが繰り広げられました。



【出された主な意見】

- 人口を増やすためには、商店街の活性化や、町民・町外の人が訪れるような公園の設備があるとよいと思う。
- 運転免許を返納すると受けられるサービスを知りたい。
- 自宅からバス停まで遠いので、コミバスのルートを増やしてほしい。
- 積雪時に高齢者が歩いて買い物に行くのに困っていた。スノーシューを増やしてほしい。

土幌基礎スキー少年団 全道大会出場報告

2月21日、教育長応接室にて、土幌基礎スキー少年団選手(井澤藍里選手(中土幌小6年)・吉田えるの選手(土幌小5年)・千葉絢太選手(同6年)・名波令穂選手(同4年)・東井咲詠選手(帯広南商業高2年))が、第13回北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会予選会で全道大会出場を決めたことに伴い、4名の選手が土屋教育長のもとへ表敬訪問されました。

「練習で頑張ったことを発揮して上位になる!」、「去年の全道大会で入賞したから今年も入賞を目指す!」など、一人ずつ全道大会への思いを語りました。

土屋教育長は「緊張すると思うけれど、練習の成果を発揮し、満足のいく結果を出せるように」と激励の言葉を送りました。
※全道大会は、2月24〜25日にびゅうスキー場(比布町)で行われました。



石川県珠洲市へ、土幌町職員 2名が派遣されました



1月1日に発生した能登半島地震で被害を受けた石川県珠洲市へ、2月26日より土幌町職員2名(地域戦略課鈴木麟太郎主任、建設課編田勇介主任)が派遣されました。

2月22日に出発式が行われ、鈴木主任は「胆振東部地震の際に派遣されたことを思い出しながら、被災した方々に貢献したい」、編田主任は「土幌を代表して行くという気持ちを忘れず、活動していきたい」と話していました。

高木町長は「1日も早い復興に貢献し、この経験を今後の防災に役立ててほしい」と話していました。

同職員2名は、2月27日から3月2日までの5日間、復興支援を行いました。

全国中学校スケート大会 結果報告

2月28日、町長応接室にて、2月3日〜6日にエムウェーブ(長野オリンピック記念アリーナ)で開催された第44回全国中学校スケート大会に出場した土幌町中央中学校スケート部6名の選手(赤間惺選手(3年)・塩谷耕平選手(同年)・上野結菜選手(同年)・野口夏帆選手(1年)・河村京葉選手(同年)・小野寺仁菜選手(同年))が高木町長へ大会結果を報告しました。

上野選手は「3,000mと1,500mともに入賞を目指していたので、達成できず悔しかったが、高校に入ってもこの経験を生かして、成果を出したい」と話していました。

高木町長は「入賞には届かなかったが、北海道の代表として、皆さんがしっかりと自分自身の滑りができたことを大変嬉しく思う」と話していました。



企業版ふるさと納税に対する

感謝状を贈呈



2月29日、役場庁舎2階応接室にて、ホクレン農業協同組合連合会（篠原末治代表理事（会長））清澤博明帯広支所長へ高木町長が企業版ふるさと納税に対する感謝状を手渡しました。

同連合会には昨年度に引き続き、100万円のご寄附をいただきました。寄附金につきましては、「安心して住み続けることができる地域をつくる事業（再エネ導入促進事業）」に活用させていただきます。

高木町長は「子育て支援やゼロカーボン等に総合的に活用し、住んで良かったと思っただけの町にしていきたい」と話し、清澤支所長は「昨年度から、企業版ふるさと納税を受け付けている全道の市町村に寄附をしている。農業をしている市町村に寄附することで、間接的に農業の好循環につながれば嬉しい」と話していました。

3団体が特別出演！町文化協会芸能発表会

3月3日、総合研修センターにて、土幌町文化協会（吉田静二会長 主催）の第52回芸能発表会が開催され、約170名が訪れました。開会の挨拶で、吉田会長は「喜怒哀楽・生活そのものを表したものが「文化」。これを通じて、より町民との繋がりを大切にしてほしい」と話しました。

ステージには特別出演3団体（土幌高原太鼓愛好会・十勝晴・フラ、ハラウ、モアナ、ラニ）を含めた8団体が出演し、舞踊、大正琴、剣詩舞、合唱などを披露し、それぞれの魅力が溢れた発表となりました。



出演団体は次のとおりです。

- 【舞踊】芳彦会
- 【大正琴】ひまわり会、大正琴士幌蘭
- 【剣詩舞】聖月流剣詩舞士幌同好会
- 【合唱】コーラスこもれび
- （特別出演）
- 【太鼓演奏】土幌高原太鼓愛好会
- 【YOSAKOI】ソーラン】十勝晴
- 【フラダンス】フラ、ハラウ、モアナ、ラニ

春季町づくり懇談会 開催のお知らせ

町では、町民皆さまの声をより多く“町づくり”に反映するため「町づくり懇談会」を開催します。

下記の日程で開催しますので、お気軽にご参加ください。

開催日	開催時間	地区	場所
4月10日(水)	10:00~12:00	士幌南	士幌南地区集落センター
	13:30~15:30	西上	西上地区集落センター
	19:00~21:00	中士幌	中士幌地区公民館
4月11日(木)	10:00~12:00	上居辺	上居辺農業会館
	13:30~15:30	士幌北	士幌北地区集落センター
4月15日(月)	19:30~21:30	新田	新田集落センター
4月16日(火)	10:00~12:00	下居辺	下居辺地区集落センター
	13:30~15:30	中音更	中音更地区交流促進センター
4月17日(水)	13:30~15:30	佐倉	佐倉交流センター
4月19日(金)	19:00~21:00	市街全域	コミセン(1階多目的ホール)

※日程は急遽変更になる場合があります。

人の動き

5,787人(-86) 男2,852人(-32) 女2,935人(-54) 世帯2,744(-11)

※2月末現在()は前年比

3月4日、美濃市と十六銀行が連携して取り組んだ「歴史的資源の活用と古民家再生でつなぐ持続可能なまちづくり」が、内閣府の地方創生SDGs官民連携取組事例の最も優れた取り組みとして「地方創生推進事務局長賞」を受賞しました。

美濃市では「うだつの上がる町並みでの空き家の解消や本美濃紙を活用した観光誘客による交流人口の拡大」に取り組んでいます。

表彰状を受け取った武藤市長は「本市の地方創生に係る取り組みにご協力いただいた民間企業の関係者の皆様に感謝したい。この賞を励みに引き続き官民連携して、持続可能なまちづくりを推進していきたい。」と話しました。

美濃市・十六銀行連携事業が 内閣府・地方創生推進事務局 賞を受賞



美濃のまちから

退職者(管理職)のご挨拶



国民健康保険病院
看護師長
尾西 孝一

この度、3月末日をもちまして町職員を退職いたしました。

令和2年の奉職以来、士幌町国民健康保険病院で看護師として勤務してまいりました。

この間、多くの町民の皆様、関係機関の皆様をはじめ、先輩同僚からの温かいご指導、ご協力を賜り、なんとかその職責を勤め終えることができました。改めまして、心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は在職中に賜りました教訓を生かし、次の人生を過ごして参りたいと思います。

結びに、士幌町の益々の発展、皆様のご健勝とご多幸をご心からお祈り申し上げ、退職のご挨拶とさせていただきます。



教育委員会
参事
川口 久

この度、3月末日をもちまして退職いたしました。

令和2年4月より任期付き職員として4年間勤務させていただきました。新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、各学校や教育委員会においても感染防止対策や子どもたちの学びの保障など様々な対応が求められました。この間、多くの町民の皆様からご指導を賜りましたことを心より感謝とお礼を申し上げます。

今後は、在職中に賜りました教示を胸に、次の人生を過ごして参りたいと思いません。

結びに、士幌の子どもたちの健やかな成長並びに士幌町のご発展、そして、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。退職のあいさつとさせていただきます。

町民皆様のご指導とご支援に心から感謝申し上げます

士幌町
LINE公式アカウント



士幌町 LINE 公式アカウントを友だち追加していただくと、町政に関するタイムリーな情報を受け取れるだけでなく、様々な機能をご利用いただけます!!
ぜひ、友だち追加をお願いします。



士幌町LINE公式アカウント
ロゴマーク



スマホでかんたん登録♪

友だち募集中!!

←携帯電話の二次元コードリーダーで読み取ることができます。

健康ニュース

高齢者のみなさんのお困りごとやお悩みごとの相談は

地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた自宅で生活を送り続けるために、介護や医療、福祉、健康など、住まいや生活に関することも含め、様々な分野を総合的に、かつ継続的に支援する拠点です。

地域包括支援センターは、主任介護支援専門員と社会福祉士・保健師の3職種でサポートします。



介護や健康に関する相談

- 一人暮らしで家事が大変になってきた
- 介護認定を受けて、手すりをつけたい、お風呂の椅子が欲しい
- 健康づくりの教室に行ってみたい

権利を守る
相談

- お金の管理に自信がない
- 介護している人がひどく大変そう

何となく困った
相談事

- よく同じ事を話す人が認知症だったらどうしよう
- ご近所の1人暮らしの人が気になります
- 施設に入るにはどうしたらいいの？いくらかかるの？
- 介護の悩み、誰かに相談したいんだけど…

詳しいご相談はお気軽に下記の相談窓口にお問い合わせください。

士幌町地域包括支援センター 電話 5-2188



こどもだより

「幼小」をつなぐ「架け橋期」

認定こども園長 渋谷 浩



文部科学省は5歳児～小学校1年生を「架け橋期」と位置づけ、幼児教育と小学校教育との滑らかな接続を図る「架け橋期のカリキュラム開発」が重要であるとしています。

土幌町認定こども園では、子どもたちが小学校に入学するときの不安感や抵抗感を、できるだけ軽減することを第一に考えています。5歳児後期にはALTによる「えいごであそぼう」を3回、園長による模擬授業を4回行い、小学校での授業の雰囲気を経験しています。



【ALTによる「えいごであそぼう」】

また、3月には進学先の土幌小学校を訪問して校内の見学を教頭先生の案内で行い、不安軽減と期待の醸成を図りました。



【小学校見学訪問（5歳児）】

3月に卒園証書を手にしたみなさんは、4月からピカピカの1年生です。安心して“あなたらしく”小学校生活を満喫してくれることを祈っています。

連絡先 認定こども園なかよし 幼児教育課 電話5-2364 (相談専用) 電話5-2502



特養だより



新しい余暇活動(レクリエーション)！

今回、昔の懐かしい写真や出来事、馴染み深い家庭用品などを見て、皆でその頃を振り返り思い出について話しをすることで、喜びや満足感を感じる回想法を用いたレクリエーションを実施しました。

皆さん、当時のことを思い出して、楽しかったことや大変だったことを面白おかしく話せたことに『久しぶりにこんな話をしたよ』、『楽しかった、またお願いね』と職員に話をして頂きました。

今後も、皆さんの余暇活動が充実するように様々な活動メニューを提供していきたいと思ひます。



連絡先 特別養護老人ホームほほえみ 電話5-2416

安全・環境だより

子どもを交通事故から守りましょう

小学生の歩行中の交通事故(平成30年〜令和4年)をみると、小学校1年生の重傷者数は6年生の約3.2倍に上ります。

新1年生の「歩行者デビュー」のため、日頃から正しい横断歩道の渡り方、信号機の見分け方など交通ルールを身につけさせ、交通事故にあわないようにしましょう。

ドライバーの皆さんは、いつも子どもが飛び出してくるかわかりません。時間にゆとりを持ち、すぐに止まれるスピードで走行し、交通事故を起こさないようにしましょう。



運転免許証自主返納の臨時窓口を開設しました

2月22日、帯広警察署のご協力のもと、今年度3回目の臨時窓口を開設しました。自主返納は、警察署や運転免許試験場で行えますが、手続きの負担軽減を図るため、役場において実施しています。

今回を含め、20名の方が臨時窓口を利用し、返納されています。次年度も実施する予定ですので、返納をご検討の方はぜひご利用ください。



大型ごみ、小型家電、鉄・金物類を回収します

4月は、大型ごみ、小型家電、鉄・金物類の回収月です。ごみの出し方を守り、収集日の朝8時までに出しましょう。

大型ごみシールは「士幌町有料指定ごみ袋等取扱店」として指定されている町内の商店、コンビニエンスストアで販売しています。

●大型ごみ

45リットルの指定袋に入らない物は大型ごみです。大型ごみシールを貼って出してください。

(長さが2m、重さが100kgを超える物は収集できません)

●小型家電

45リットル以下の袋に入る、コンセントまたは電池を使用する電化製品が対象になります。

●鉄・金物類

透明もしくは半透明の袋に鉄・金物類だけを入れて出してください。袋に入らない大きな鉄・金物類(例 自転車等)は大型ごみのシールを貼らずに出してください。

(長さが2m、重さが100kgを超える物は収集できません)

前年度とのごみ発生量の比較

2月は前年同期と比較してごみの量が増加しています。

資源として分別できるものは、地区の集団回収を利用したり、リサイクル業者等へ持ち込むなど「ごみの減量」にご協力をお願いします。

今月のごみ指数

単位：kg

	令和6年2月分		前年同期		増減
燃やせるごみ	59,880		53,040		12.90%
燃やせないごみ	8,870		8,750		1.37%
合計	68,750		61,790		11.26%
町民一人当たりのごみの量	5,787	11.9	5,873	10.5	
資源ごみ	36,241		35,890		0.98%

ごみに関するお問い合わせは、役場生活環境係(町民課直通) ☎5231 までお願いします。

●入院患者様との面会を再開しています●

- 1 面会時間：平日の14：00から16：00まで（15分以内）
※土日祝日は面会できません。
- 2 対象者：15歳以上の親族の方
- 3 面会人数：入院患者様1人につき、1日3人まで
- 4 その他：来院時、1階受付窓口にお申し出ください（事前予約は不要）。
※マスクを着用のうえお越しください。
※感染症等対策のため、健康状態の確認をさせていただきます。



●小児科の時間・担当医が変更になります●

4月1日より、小児科外来は、月曜日・金曜日に午後診療、水曜日に午前診療に変更となります。診察は清水重男医師（元音更こどもクリニック理事長）が担当いたします。

小児科外来					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	休診	休診	●	休診	休診
午後	●	休診	休診	休診	●

【月・金曜日】受付 13：15～16：00、診察 13：30～16：30

【水曜日】受付 8：40～11：30、診察 9：00～12：00

※土日祝日は休診となります。



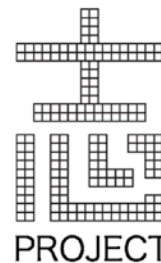
●来院時のマスク着用をお願いしています●

感染対策のため、院内ではマスクの着用をお願いしております。
ご協力くださいますようお願い申し上げます。
※マスクの着用が困難な方はご相談ください。



●国民健康保険病院 電話5－2106

いま、土幌高校では



弥生3月、旅立ちの日

今年も29名の卒業生たちが土幌高校を巣立っていきました。振り返ると、新型コロナウイルス感染症の影響で、1、2年生の頃は物足りない学校生活だったかもしれません。3年生になってからは、コロナ禍の前のように充実した学校行事もあり有意義な高校生活となったことでしょう。3年間で学んだ“志”を持ち、新たなステージへと旅立ってください。また、町民の皆様には今年度も大変お世話になりありがとうございました。次年度も引き続き、本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

◆3月1日(金)卒業証書授与式挙行

本校体育館において、第71回卒業証書授与式を挙行了しました。アグリビジネス科15名、フードシステム科14名、合計29名の卒業生は皆、笑顔でそれぞれの進路に向けた旅立ちの日を迎えることができました。お世話になった関係各位には改めて感謝いたします。



一人ひとりに手渡しで卒業証書を授与しました

アグリビジネス科3年担任 大和田 愛

生徒達は多くの人に支えられ、土幌高校で充実した3年間を送ることができました。そして無事に卒業を迎え、授業や行事で得た様々なスキルを持って進路先へと旅立ちます。今後は保護者や地域の皆様の為に活躍する存在へと成長してくれることを願っています。



アグリビジネス科



フードシステム科

フードシステム科3年担任 増谷 龍大

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けながらの3年間でしたが、できる範囲の中で考え、工夫し充実した高校生活を送ることができました。そのなかで遅く成長し、社会へと巣立っていくことができました。これも保護者の皆様や地域の方々の支援のおかげです。3年間ありがとうございました。

--【4月の予定】※行事は全て予定です。--

- 年度始休業 ~7日
- 始業式・着任式・入学式 8日
- 新入生対面式 9日
- 海外文化交流学習会 10、17、24日
- 級内意見発表(1年生) 15、16日
- 東北海道農業クラブ連盟春季代議員会 20日
- 年度始総会・プロジェクト計画発表 26日
- 授業参観・PTA 総会 27日

学校 HP	アグリビジネス科	フードシステム科
農業クラブ		ホームページや Facebook・Instagram でも紹介していますので是非ご覧ください。



令和6年度 小・中学校の教育

今年度の小・中学校の始業式並びに入学期は4月8日です。士幌町教育実践テーマ『過去を見直し、今を見極め、先を見据える教育』に基づいた令和6年度の各学校の教育活動が始まります。

士幌町子どもたちの健やかな成長を目指した士幌町学校教育の新たな取組や重点に位置付けている取組とそのねらいをまとめてみました。

【少人数学級編制】

国の基準では、1学級編制となる士幌小3年生と中央中1年生を2学級編制とします。昨年度まで小学校低学年についてのみ適用していた「町独自の少人数学級編制」の適用範囲を見直し、小・中学校

全学年に拡大しました。少人数の学級編制の実施で、より児童生徒ひとり一人に寄り添った支援や指導を目指します。

【小学校教科担任制】

昨年度「教科担任による指導」を理科と外国語で行いました。今年度は道教委の加配教員と町採用の臨時教員を活用して、新たに算数と体育を追加し4教科とします。専門性の高い教科担任（中学校の免許所有教員等）の指導で質の高い授業の実施や他の先生方の指導力の向上を目指します。更に、教科担任制により学級担任の先生は他の授業準備等の時間が生まれ、余裕のある指導につながります。



【少人数指導・個に応じた指導】

中学校は道教委の加配教員を活用して、クラスを2つに分けた指導（少人数指導・習熟度別指導）や複数の先生での指導（T・T指導）を数学等で行い、基礎学力の定着や応用力の向上を図っています。

また、町採用臨時教員を活用したT・T指導の実施や小学校での学習支援員や学級支援員の配置についても継続して、特別支援教育も含めて、子どもたち個々のニーズに応じたきめ細やかな支援や指導を目指します。

【いじめ・不登校への対応】

いじめの早期発見・早期解消に向けて、児童生徒から相談しやすい体制の充実を図ります。対応が担任の先生任せにならないように、学校全体での情報の共有と協働的な支援を進めます。

昨年度、町採用の「不登校対策専門員」を配置して児童生徒や保護者の相談や支援の体制を整備しました。今年度も学校との連携を高めて支援の充実を図ります。また、欠席の多い児童生徒に対しては、学校や家庭における柔軟な学びの提供を進めます。

【学校間の連携】

昨年度から、中学校の英語教員による小学校外国語・外国語活動の指導が始まりました。今年度は6年生の中学校での授業体験の機会も増やし、小学校から中学校へのスムーズな接続を目指します。

士幌高校との連携や交流も増え、昨年度は小学生が士幌高校を訪れ乗馬体験などを行いました。今年度は、こども園・保育所を含めた各学校間での連携の取組を更に進め、士幌町ならではの活動を増やしていきます。

【教職員の働き方改革】

これまで、部活動休養日や定時退勤日の設定、授業以外の業務の見直しなどで、先生方の時間外勤務の削減を図ってきました。今年度も業務の効率化を始め、先生方が心身ともに健康で仕事に向かうことができる職場環境の改善・充実に力を注ぎます。

先生方が時間的にも精神的にも余裕を持つことで、児童生徒と向き合う時間の増加や先生自身の生活全般の充実につながり、それが質の高い教育の提供につながると考えます。

町民文芸

俳句

・なによりも身体にいいよしみじむ規汁
和田 節女

・待ちわびし白鷺城へ春の旅
研 紀

・陽春に子等とたわぶる千姫よ
研 紀

・夕霞目標超えぬ万歩計
水 音

・烏曇に引っ越し便がすれ違う
水 音

川柳

・嬉しいね孫に連れられ診察へ
和田 節子

短歌

・ながながと山一筋や雪の原消える頃には畑は青しに
清水さよ子

・キビキビとよさこい踊るちびっ子に目がくぎづけになる発表会
三木 悦子

バトンタッチ



笑顔絶やさず 町民対応



新生

なが ひら
長平
さき き
紗妃
さん

プロフィール

- ◆家族構成◆
単身
- ◆土幌で好きなもの◆
佐倉カフエ
- ◆旅行に行くとしたら？◆
宮城県仙台市

紗妃さんは音更町出身。帯広南商業高校を卒業後、土幌町役場へ入庁し、4月で3年目となります。高校時代に参加した十勝町村職員採用試験説明会で、「町民の方々と関わりながら住みやすい町づくりを実現したい」と思い、このお仕事を目指しました。

現在は、教育委員会に配属されており、就学に必要な経費の援助や、「特別支援教育就学奨励費」の支給など、学校教育に関する業務を担っています。入庁して丸2年。「要件をわかりやすく、簡潔に伝えたり説明したりすることが難しい」と話す紗妃さんですが、相手の立場になって考えたり、上司からアドバイスをもらったりと、日々成長しています。挨拶と笑顔も欠かしません。

趣味は写真を撮ることで、風景や日常をカメラに収めているそうです。ほかにも、スノーボードやミニバレーなど、体を動かすことも好きな紗妃さん。これから挑戦してみたいことを尋ねると、「まだ行ったことのない日本各地を旅行し、その地域の街並みを写真に残したり名物を食べたりしてみたい。特にずんだが大好きなので、仙台に行つて本場のずんだをたくさん食べたい!」と話していました。

次回は、みどりの笠継彩音さんにバトンタッチ。紗妃さんから彩音さんへ一言。「一緒にご飯食べに行こう!」

したしみ図書館 新しく入った本

【児童書】

いまのきもちはどこにいる?
(えがしらみちこ)
ごはんのずかん (大森裕子)
おすしがあるひたびにでた
(田中達也)
ももからうまれたおにたろう
(リリー)
へそまがりの魔女 (安東みきえ)
いちじくのはなし
(しおたにまみこ)
ちいさなトガリネズミ
(みやこしあきこ)
国連で働く (植木安弘)
10代から身につけたい「伝える力」
(池上彰)
即伸びキッズストレッチ (村山巧)
気をつけよう!課金トラブル 1
(高橋暁子)

【一般書】

暗殺 (赤川次郎)
川のある街 (江國香織)
なれのはて (加藤シゲアキ)
東京都同情塔 (九段理江)
ブラック・ショーマンと覚醒する女
たち (東野圭吾)
成瀬は信じた道をいく (宮島未奈)
笑う老人生活 (高嶋弘之)
X完全マニュアル (八木重和)
シン防災 (昭和堂)
低コスト生活 (かぜのため)
保護犬・保護猫と家族になるときに
読む本 (保護犬・保護猫のお迎えサポ
ート)
メメンとモリ (ヨシタケシンスケ)
失敗しない!舞台メイクの教科書
(YOKO)
怪物に出会った日 (森合正範)

★ノラネコぐんだん ペこぺこキャンプ (工藤ノリコ)

仕事が休みで、キャンプにやってきたワンワンちゃんとマーミーちゃん。ふたりがテントのそばを離れた際に、ノラネコぐんだんはふたりの朝ごはんを全部食べてしまい…。



★紫式部は今日も憂鬱 (堀越英美)

後宮で働くことになった、ひきこもり作家の紫式部。同僚はみんな深窓の令嬢でいきなりアウェイ。仕事相手はクセつよ貴族官僚で…。『紫式部日記』を30代OL風の言葉でわかりやすく全訳。平安文化についての解説も掲載する。



★★今月の休館日★★
2、9、16、23、30日
(毎週火曜日)

したしみ図書館(総合研修センター内 電話5-2281)【開館時間】10時00分～18時00分まで
<https://www.ik.licsre-saas.jp/shihoro/webopac/index.do>

★善意に感謝します★

寄附・寄贈

▼協働のまちづくりに係る基盤づくりに関する事業

土屋 昌弘さん 10万円

▼みんなで支えあう福祉のまちづくりに関する事業

八代 信子さん 7万円

《企業版ふるさと納税》

▼安心して住み続けることができ
る地域をつくる事業

ホクレン農業協同組合連合会(札幌市)

100万円

《教育委員会へ》

三原 好生さん ランドセル

《したしみ図書館へ》

小西 美子さん(緑光)

漫画「生徒諸君」鬼灯の冷徹「69冊

《特別養護老人ホームへ》

アトリエ会 タオル、いも他

新田老人クラブ 石けん

J A士幌町女性部 タオル

★おくやみ★

遊塚 定子さん(86歳) 新

上面 伸一さん(86歳) 共

渡邊 昇さん(82歳) 特

金森 史公さん(77歳) 中

向井 キヨ子さん(97歳) 特

小椋 美枝子さん(95歳) 特

酒井 力さん(81歳) 平

(3月15日受付分まで)

漫画コーナーを リニューアル!

したしみ図書館

3月10日より、図書館の漫画コーナーをリニューアルしました。図書館の指定管理者である株式会社オカモトの漫画を扱っているカーパニーより500冊の漫画を寄贈いただきました。そのほか町民の方や図書館スタッフからも寄贈していただき、漫画コーナーを大幅リニューアルすることができました。

また、サイドテーブルも新たに設置し、ゆっくり漫画を読んでもいただける環境を整えました。皆さまのご来館を、スタッフ一同お待ちしております。





暮らしのカレンダー 4月

日にち	行	事	場所
1月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
2火	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
3水	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
4木	受付時間は個別通知 もぐもぐ教室		保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
5金	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:00～10:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:15～13:30 受付	予防接種 (四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	国保
	15:45～16:00 受付	予防接種 (二種混合・日本脳炎)	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
6土			
7日			
8月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 10:00～11:00	ぴよぴよ広場	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
9火	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	10:30～11:30	スマイル教室	保セ
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
10水	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
11木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
12金	8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	わんぱくの日	認定こ
	10:00～10:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:15～13:30 受付	予防接種 (四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
13土	15:45～16:00 受付	予防接種 (二種混合・日本脳炎)	国保
14日			
15月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	13:00～14:00	ふまねっと	中士幌

日にち	行	事	場所
16火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～14:00	ふまねっと	タウン
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
17水	10:00～10:10 受付	むし歯予防教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
18木	受付時間は個別通知 乳児健診		保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
19金	8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 9:30～11:30	おひさまの日	認定こ
	10:00～10:30 受付	まる元運動教室	保セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
20土			
21日			
22月	9:00～11:00	妊産婦・一般健康相談	福セ
	☆ 9:30～11:30	ちびっこ広場	認定こ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:15～13:30 受付	予防接種 (四種混合・水痘・日本脳炎・B型肝炎)	国保
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
23火	15:45～16:00 受付	予防接種 (二種混合・日本脳炎)	国保
	☆ 9:30～11:30	なかよくあそび	中児
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
24水	9:30～11:00	おっぱい相談 (要予約)	福セ
	☆ 9:30～11:30	のびのびの日	認定こ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
25木	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
26金	8:50～ 9:20 受付	まる元運動教室	保セ
	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	10:00～10:30 受付	まる元運動教室	福セ
	13:00～13:30 受付	まる元運動教室	福セ
	13:15～13:30 受付	予防接種 (BCG・麻しん風しん混合)	保セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児
27土			
28日			
29月			
30火	☆ 9:30～11:30	にこにこ広場	中児
	13:00～16:30	よすが子育て相談	福セ
	☆ 13:30～15:30	ごごの広場	中児

【凡例】

- 保セ** → 町民保健センター **国保** → 国保病院
- 福セ** → 総合福祉センター **中士幌** → 中士幌地区公民館
- 中児** → 中士幌児童ステーション **タウン** → タウンプラザ
- 認定こ** → 認定こども園なかよし **総研** → 総合研修センター

※子育て支援は0歳から就学前のお子さんを持つ家庭の方が対象です。また、キッズ・クラブは会員登録制です。☆印のお問い合わせや子育ての相談は子育て支援センター(電話7-4102)または認定こども園なかよし(電話5-2502)まで
 ※まる元運動教室は、地域包括支援センター(電話5-2188)にご相談ください。